

2009年度

科目名	比較文学		
担当教員	林 進		
配当	教育3	コード	54090
開期	通年	講時	金曜日4限
単位数	4		
授業テーマ	日本文学と西欧文学の比較		
目的と概要	三島由紀夫、トーマス・マン、川端康成、谷崎潤一郎、森鷗外、カフカ等、古今東西の作家の文学作品をテーマ別に比較しながら、あるいは文学と他の芸術・学問分野を比較検討しながら、現代社会における文学の意味と機能を考える。映画ビデオ等も適宜活用しながら解説する。		
成績評価法	二つの学期末のレポートと平常点で評価する。		
テキスト	プリント配布		
参考書	『三島由紀夫とトーマス・マン』林進著/鳥影社、その他授業中に紹介する。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
第1回 オリエンテーション——比較文学とは何か 第2回 小説と叙事詩(1) 小説の理論——三島由紀夫『潮騒』とトーマス・マン『トニオ・クレーガー』 第3回 小説と叙事詩(2) 古典主義美学と近代の分裂——三島『潮騒』とマン『トニオ・クレーガー』 第4回 愛の不能(不感症)——三島由紀夫『音楽』と精神分析 第5回 愛の悲劇——ソフォクレス『オイディプス王』と三島由紀夫『熱帯樹』 第6回 武士道(1)——三島由紀夫『剣』(1) 第7回 武士道(2)——三島由紀夫『剣』(2) 第8回 愛の孤独——三島由紀夫『愛の渇き』 第9回 三島由紀夫と映画——『からっ風野郎』から『人斬り』へ 第10回 表層のエロス(皮膚と筋肉)——谷崎潤一郎(『刺青』)と三島由紀夫 第11回 学生起業家とヤミ金融——光クラブ事件と三島由紀夫『青の時代』 第12回 美男へのレッスン(スター誕生)——美輪明宏と三島由紀夫と『黒蜥蜴』 第13回 カへの意志あるいはルサンチマンの美学——ニーチェの思想と三島由紀夫『金閣寺』(1) 第14回 カへの意志あるいはルサンチマンの美学——ニーチェの思想と三島由紀夫『金閣寺』(2) 第15回 総括 第16回 若さと老いの美学(サド・マゾヒズム文学)——三島由紀夫と谷崎潤一郎『痴人の愛』『鍵』 第17回 仮面の文学——トーマス・マンと三島由紀夫 第18回 超人へのレッスン(ただし悲劇的)——ニーチェと三島由紀夫(1) 第19回 近代日本とドイツ(1) 国家と家と個人——森鷗外『舞姫』(1) 第20回 近代日本とドイツ(2) 国家と家と個人——森鷗外『舞姫』(2) 第21回 文学と病気(1)——トーマス・マン『魔の山』と堀辰雄『風立ちぬ』(1) 第22回 文学と病気(2)——トーマス・マン『魔の山』と堀辰雄『風立ちぬ』(2) 第23回 エロティシズム(1) 絶対的タブーの侵犯——三島由紀夫『春の雪』(1) 第24回 エロティシズム(2) 愛の死——三島由紀夫『春の雪』(2) 第25回 テロリズム(1) 孤独の侵犯——カフカ『審判』と安部公房『友達』 第26回 テロリズム(2) 暗殺(父と子)——三島由紀夫『鹿鳴館』 第27回 変身とシュールリアリズム——カフカ『変身』と安部公房『赤い繭』とダリ『記憶の固執』 第28回 発狂と自刃——ニーチェと三島由紀夫(2) 第29回 二つの死——川端康成と三島由紀夫 第30回 総括			